

石川県原子力環境安全管理協議会議事録

1. 日 時：平成16年12月20日(月)午前10時30分から12時

2. 場 所：石川県庁11階1102会議室

3. 出席者：18名(名称略)、事務局、説明者他

4. 議事概要

(1)志賀原子力発電所1号機の運転状況、第9回定期検査の実施状況、2号機新燃料搬入、連絡基準に基づく連絡事象について、北陸電力(株)から説明があった。

(委員)：地震があった際には、どのような項目をチェックするのか。

(電力)：最初に、中央制御室内で発生した警報を確認する。その後、現場を巡回し、異常の有無を確認する。

(委員)：スミヤ布を燃料プールに落下させた件については、落下防止のヒモをつけるなど普通に行われるようなことを実施すべき。初歩的なことであり、注意して欲しい。

(電力)：落下した場合、拾い上げるためのタモを準備したり、沈んでいかないうような素材のものにするなど改善したい。今後、注意する。

(委員)：運転中に地震があった場合はどのようなことを確認するのか。

(電力)：運転中でも停止中でも基本的には確認することは変わらない。

(委員)：地震により火災が発生することがあるが、火災の対策はどのようになっているのか。

(電力)：火災報知器が設置してあり、火災が発生した場合は直ちに検知できるようなしくみになっている。また、自営の消防組織もあり、対応する。

(委員)：今回の中越地震について、他発電所での影響はどうだったか。

(電力)：東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所が一番震源に近いが、地震発生時の対応は前述の説明と変わりはない。余震によりタービンが止まったため、原子炉が自動停止したことがあった。

(2)志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(平成16年度第2報)(案)、志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(平成16年度第1報)(案)について、石川県から説明があった。

(委員)：放射線の報告書12頁表中の一番右の数値は、全数の記載がないため、分かりにくい。

(県)：今後、記載方法を検討する。

- (委員): 地球温暖化により日本海全体の水温が上昇し、生物相が変化しているが、温排水影響調査においてはそのような傾向は見られるのか。
- (県): 地球温暖化による影響は観測されているのは事実であるが、温排水影響調査において、問題があるのかないのか検討していない。
- (委員): 発電所が稼働して10年過ぎたが、経年変化的なものをまとめ、説明して欲しい。
- (委員): 「これまでの測定結果の範囲内であった」とか「ほぼ同様であったか」という説明だけでなく、もう少し分かり易い工夫が欲しい。
- (県): 今後、過去のデータを振り返りながら、評価し、説明方法を工夫したい。

(3)平成16年度第2回保安検査結果について、原子力安全・保安院志賀原子力保安検査官事務所から説明があった。

(4)前回の議事録(案)については、意見等があれば1月7日までに事務局へ連絡していただくこととなった。

以 上